









## 令和元年度公益社団法人青森県社会福祉士会 役員選挙立候補者名簿(届け出順)

	氏名 生年月日	支部名	立候補理由	推薦人氏名	推薦理由
1	嶋中 俊英 昭和50年12月29日 	東青	次期役員に選出された場合、本会事務局機能の維持及び強化を図ります。 青森県社会福祉士会の会員が600人を超えました。会員の皆様に多様な活動をしていただくためには、各委員会・部会と綿密な連携を図ることができる事務局が必要です。会員の皆様によるソーシャルワークの実践のためにも、よりスムーズな事業運営に資する活動をすべきと考え立候補いたしました。	田中 志子	嶋中氏は、事務局次長として青森県社会福祉士会を支えて下さっています。会が今後も発展していくためには、嶋中氏の手腕が必要と考えます。これまでの経験と嶋中氏の温厚な人柄をこれからも会のために発揮していただけたらと考え推薦致します。
				齋藤 康子	青森県社会福祉士会の常務理事を3期務め、青森県の社会福祉の向上に尽力しています。また、主に高齢者福祉の分野で、地域のニーズに耳を傾け、尊厳を保持した暮らしを支えるために貢献しています。 上記の理由にて推薦いたします。
2	納谷 むつみ 昭和41年3月23日 	下北	会の活動を通じ、地域福祉の向上を図りたいと思います。また、会員がやりがいを感じられる会の活動について、会員と一緒に考え、試行錯誤していきたいと思っています。	紀伊 忍	地域福祉に明るく、会への貢献度も高いため。
				林 誠	下北支部長として事業を企画実施し、また、定期的に広報誌を発行するなど、支部活動の活性化に尽力していただいております。県社会福祉士会の活動に対しても役員として責任を果たすことができる方だと思います。
3	宇佐美 大輔 昭和56年1月7日 	西北五	理事を一期務めさせていただいた中で、まだまだ会員と県士会との温度差やギャップが埋まっていないと実感いたしました。また、会員相互の有機的なつながりもまだまだ弱いと感じます。 引き続き、それらを埋める役割や会員と会をつなぐ役割を果たしていきたいと考え、立候補いたします。	藤田 智久	長年障害者・高齢者分野で地域住民の為に活動されており、利用者の目線になって物事を考えられる方です。県士会での活動としては、西北後支部長を経験後、理事として1期務められ、支部会員の意見を会の活動に反映できるようにと取り組んでおられます。今後も西北五を代表してもらいたく推薦いたします。
				片岡 沙織	新元号と同じ漢字を含む“令聞令望”は、人とのつながりを大切に、支部長を務め、Ho-ZAネットを立ち上げた宇佐美さんの人柄を裏付ける言葉で、現在も権利擁護委員会担当理事として、その功績は逸材です。いつでもWin-Winであることを第一に、統率力をもって行動する宇佐美さんは、新しい時代への懸け橋として、県士会理事にふさわしい方だと思います。

4	<p>鳴海 春輝 昭和27年1月5日</p> 	中南	<p>私は、この2年間で、当会の事業の他、日本社会福祉士会や東北各県士会との交流、行政や団体の各委員会への出席等を通して、多くの刺激を受けました。また、関係づくりも出来ました。この度、立候補にあたり、当会の諸活動がより充実し、魅力あるものとなるよう「誠実」を信条として働かせていただきたいと思います。微力ではありますが、よろしくお願い致します。</p>	辻村 博隆	<p>当会は様々な分野で活動する会員が増えています。鳴海さんは各分野の活動や課題を取り上げ、会に反映させることができる人であり、自らも福祉を学生に教える実践をしています。この力を是非会の発展に生かしていただきたいので推薦します。</p>
				小川 幸裕	<p>鳴海春輝氏は、2017年から2年間、青森県社会福祉士会の会長として第2期中期計画を策定されるなど、会の運営及び活動評価の体制を整えられ、会の発展に寄与された。</p>
5	<p>最上 和幸 昭和36年7月5日</p> 	東青	<p>社会の津々浦々でソーシャルワークが展開されることが、県民の福祉向上に繋がるとの強い信念に基づき、スクールソーシャルワークの推進、新たにリーガルソーシャルワークの取組など社会福祉士の職域拡大に努めました。また、事務局長として本会第二期中期計画の着実な推進と財政の安定に取り組んできました。 今後は、皆様の会費や寄付金を有効に活用し、収益性の高い取組を推進していくことで、事務局体制の更なる強化に努めます。</p>	杉野 利久	<p>最上氏は長年に亘り、全国及び県社会福祉士会の活動に深く貢献してきたが、その経験こそが、本会の次代に向けた組織改革の基盤確立のためには是非とも必要である。</p>
				寺田 富二子	<p>最上氏は、社会福祉士の地位向上のために長らくその知識と経験を生かして地道に努力されています。そして本会の事務局体制の強化に向けて、熱い志をもって会務にあたられています。今後も会員のため、県民のため必ずや成果をあげるべく活動していただけたと思います。</p>
6	<p>工藤 英一 昭和49年7月26日</p> 	三八	<p>2018年より常務理事として勉強する機会と大変貴重な経験をさせて頂きました。引き続き理事として、県士会の質の向上と活動の充実に向け微力ながら取組みたいと思います。また、社会福祉士として、自分自身も成長していきたいと再度立候補しました。どうぞよろしくお願い致します。</p>	晴山 久寿	<p>昨年度、理事1年目の工藤氏は、ほぼ毎月八戸から理事会等へ出席され、会の発展に対し、強い情熱をお持ちです。 また、教育現場と福祉現場で培った知識と経験を活かして、会のために尽力して下さると思います。</p>
				源 明	<p>私は工藤英一氏を役員に推薦します。理由は直接処遇と経理事務で培った知識と経験を活かしてチームワークを意識しているために、仲間からの信頼も厚く、広い視野に立って県士会を発展させてくれると確信しているからです。</p>

7	<p>平野 絢子 昭和59年9月20日</p> 	東青	<p>これまでユーズ部会部会長、東青支部役員と経験させて頂きました。令和元年の今年度、社会福祉士会会員として12年目となります。現在の私があるのは、会活動で出会った方々とのネットワークと支えがあったからこそです。理事として、会の運営に関わり、恩返しができればと考えます。どうぞよろしくお願い致します。</p>	羽部 清隆	<p>氏は長い間ユーズ部会長として活躍され、現在は東青支部役員に従事しております。その幅広い人脈から会全体の後進育成と支部活動の活性化に著しく貢献している人材です。また、公私にわたり熱心な勉強家であるため、ポテンシャルの高さから会に新しく若い風を吹かせ、どんな困難も乗り越えられる理事になってくれると信じています。</p>
				水上 里紗	<p>氏はユーズ部会の中核として活動され、部会の活性化にも尽力されました。また現在は東青支部役員として支部運営にも携わり、部会や職務での経験を生かして活躍されています。いつも朗らかで向上心が高くポジティブな姿勢は、これからの会の運営においても必ずやプラスになると思います。</p>
8	<p>中村 直樹 昭和60年5月22日</p> 	中南	<p>これまで1期、会の諸行事・支部会・各種事業等に参画関わらせて頂いた経験を活かし、次期も引き続いて「ユーズ部会」「社会福祉士生涯研修事業運営委員会」をはじめとする会活動についてサポートさせていただきたく考えております。 どうぞよろしくお願い致します。</p>	金沢 公太郎	<p>ユーズ部会や生涯研修な講師等を等して、中村直樹氏と交流のある方は非常に多く、またお世話になっている方も入会している方、そうでない方問わず多数おられるものと思います。今後も会のため、活躍して下さるものと信じています。よって、今回も中村直樹氏を推薦いたします。</p>
				北山 倉栄	<p>中村直樹さんは、社会福祉士会活動に精力的に活動され中南支部においても中心的な役割を果たされており、熱心に活動されています。 前任期ではユーズ部会や中期計画策定委員会などで先頭に立ち、活躍されてきました。また、生涯研修制度についても普及・啓発に尽力され、社会福祉士会で行う生涯研修制度について正しく理解されている数少ない方であります。今後の会の発展に向けて今後も活躍されることと思いますので常任理事へ推薦いたします。</p>
9	<p>小笠原 仁美 昭和51年10月6日</p> 	東青	<p>当会に所属して10年ほどになります。昨年度中途から理事として活動してきました。理事としてまだ1年経過しておらず、今後も続けてお力になればと思ひ立候補しました。会のために、地域のために、頑張りたいと思います。</p>	江刺家 聡子	<p>現在も理事として意欲的に活動され、福祉サービス第三者評価事業運営委員会の取り組みを支えておられることから推薦いたします。</p>
				棟方 梢	<p>社会福祉士として10年以上の活動経験があり、支部や委員会での活動も積極的に取り組んでいる方です。上記の理由により推薦いたします。</p>

10	<p>今 栄利子 昭和55年10月15日</p> 	東青	<p>私は2期理事を務めさせていただきました。また、事務局業務にも関わらせていただき会のあり方や会員の皆さんの活動を支えていく大切さを考えながら活動してまいりました。もう1期、会員の皆さんが積極的に活躍できるよう場をしっかりと作っていけるよう微力ながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>	<p>種元 通武</p> <p>今栄利子さんは青森敬仁会病院医療相談室に医療ソーシャルワーカーとして勤務しており、幅広い知識とネットワークを活用し現場の第一線で活躍されています。本来のソーシャルワーカーとしての援助業務以外にも、部署管理者としての後任育成や実習指導者にも積極的に取り組んでおり、連携先機関のソーシャルワーカーからも厚い信頼を寄せられております。当会においては、ユース部会長・東青支部長を歴任し、現在は常務理事を務めており、これまでの当会における活動実績は会員の手本となる存在であります。引き続き職務を継続して頂き、当会発展に尽力頂ければと考え、この度行われる青森県社会福祉士会役員理事選任に推薦させていただきます。</p>
	<p>山崎 水季弘</p> <p>これまでも会の活動に対し、適宜的確な発言・行動力等をもって尽力されている姿を拝見しております。引き続き、今まで蓄積された経験や見識を会の運営上の重要な意思決定に活用していただきながら、活動・活躍して頂きたいと考え、長年活動を共にしている仲間として自信をもって推薦させていただきます。</p>			
11	<p>鳴海 孝彦 昭和39年7月8日</p> 	上十三	<p>理事として2期4年間会務に関わった経験を活かして、会の発展に微力ながらも貢献したい。</p>	<p>下田 亨</p> <p>社会福祉士として、地域福祉を初めとする関連事業の知識が高く、福祉事業だけでなく関連する団体・機関とのネットワークも広く、人望も厚く尊敬できる方であり、県社会福祉士会経営及び運営に関しても役員として活躍できる人材と思っております。理事として再選し、会の発展を考え役員として活躍してほしいと考えます。</p>
	<p>十文字 利則</p> <p>鳴海氏は青森県社会福祉協議会に永年勤務し、現在は生活福祉資金・生活困窮者支援の担当及び事務局次長として活躍され、今後も更なる活躍が期待されます。これまでの同氏の業務経験を活かし、会での活躍を期待し推薦いたします。</p>			